

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和2年3月 18 日(水)午後1時 41 分～午後1時 49 分(9階 904 会議室)

○出席委員(8名)

委 員 長	二階堂武文
副委員長	佐々木 優
委 員	高木 直人
委 員	川又 康彦
委 員	石山 波恵
委 員	阿部 亨
委 員	小松 良行
委 員	山岸 清

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査」

- (1) 今後の調査の進め方について
- (2) その他

午後 1 時41分 開 議

(二階堂武文委員長) ただいまから経済民生常任委員会を再開いたします。

議題は、お手元に配付の印刷物のとおりです。

古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査についてを議題といたします。

まず、1、今後の調査の進め方についてを議題といたします。

2月21日に開催した委員会で、委員長報告の時期を含めた今後のスケジュールについて、委員の皆様から様々なご意見を頂きました。また、3月の中間報告については、前回お話しさせていただいたとおりで確認させていただいたところです。この間、正副委員長のほうで委員長報告の時期について、6月報告がよいのか、9月報告がよいのか、さらに協議を重ねてまいりました。

ここで、皆様のお手元に今後のスケジュール感を示した2つの資料がありますので、そちらを御覧いただければと思います。最初は、6月の委員長報告を行った場合の資料です。資料の裏面、太文字

で書かれているところからが今後の予定になります。11回目を本日協議しているところですが、それ以降7回ほど委員長報告をまとめるのに回数がかかると考えております。6月報告の場合でも、直近の現状把握は必要であろうと正副委員長としては考えておりますので、委員長報告のまとめと当局説明の調整を同時並行で行っていくこととなる想定をして作っております。

次に、もう一方の資料ですが、9月に委員長報告を行った場合の資料を御覧ください。同様に、裏面の太字で書かれたところからが今後の予定になります。11回目が本日の協議ということで、それ以降11回ほど委員会を開催する予定で作成しており、2月21日の委員会で口頭でご提案した当局説明と現地調査を入れ込んでおります。

6月にしろ、9月にしろ、このようなスケジュール感の中で今後まとめていくことになるのではないかと想定しているところです。

正副委員長といたしましては、皆様のご意見で6月報告をというご意見もありましたが、もともと今回の調査は、エール放映終了後も古関裕而氏を活かしたまちづくりがこの先も長く継続したものとなるためには、どのような視点で取り組んでいくことが効果的で、まちににぎわいや活気、市民に元気を生み出すきっかけとなるのかを調査することで進めてまいりました。委員の皆様が、報告時期について正副委員長にご一任いただけるのであれば、エール放送開始後の市の施策に対する来訪者の皆さんの反響の把握を当局説明や現地調査を通して行った上で、9月のスケジュールで実施していきたいと考えているところです。

また、現在猛威を振るっている新型コロナウイルスの感染防止対策や感染拡大の影響なども今後まだまだ不透明でありますことから、市の具体的な施策である古関裕而のまち・ふくしまシンフォニーの取組にも今後影響が出てくることも考えられます。それらの状況も見ながら、9月に報告するのがよろしいのではないかと感じております。

その場合、4月から6月の取組や課題に対して、今回の3月の定例会議で予算審査したように、6月定例会議の委員会審査を通して、受入れ体制の進捗状況を当局にただし、場合によっては7月以降のエールの後半の放送に向けてしっかりと要望するなどして、形を残しながら進めていければと考えております。

皆様には、ご希望に沿えないところもあり、いろいろとご苦勞をおかけして申し訳ありませんが、何とぞご理解を頂きながら、引き続き委員会運営に対しましてご協力を頂ければ幸いです。

今後のスケジュールについては、正副委員長の考えは以上でございますが、何かご意見などございますでしょうか。

(山岸 清委員) 私は6月という論理だったのだけれども、やっぱり9月がしょうがないかな。

(二階堂武文委員長) ほかいかがでしょうか。

【「委員長、副委員長にお任せします」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) ありがとうございます。

それでは、そのように進めさせていただきます。

なければ、以上で経済民生常任委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後 1 時49分 散 会

経済民生常任委員長 二階堂 武文